

サーバス九州



日本サーバス九州支部会報 No.133 2009年2月20日

支部長

1. お知らせ

九州支部会議の案内

今年度の会議を下記のように北九州市で行ないます。また、支部会議の後、懇親会も予定しております。会員相互の親善交流を深め支部活動の進展を図りたいと思いますので、どうぞ多くの会員のご出席をお願い致します。

サーバス九州支部会議

日 時： 2009年4月4日(土) 13時-16時

会 場： 会員宅

住 所： 北九州市

集合場所：小倉駅南口「小倉駅前便局」前のタクシー乗り場

12時15までに集合、タクシーで分乗し、会場へ。住宅街のため駐車場はありませんので、自家用車の方は駅近くの駐車場に停めてタクシーをご利用下さい。

参加料： 無料

支部会議内容：

1. 支部長挨拶
2. 出席者紹介
3. 2008年度活動報告
4. 2008年度会計報告
5. 国内会議報告(2009年3月東京)
6. 2009年度活動方針及び活動計画
7. 2009年度予算
8. その他

懇親会

日 時： 2009年4月4日(土)支部会議終了後、17時より19時頃まで

場 所： 小倉駅近くのレストラン

食事代： 食事代一人3,000円程度

申込み： サーバス九州事務局 電子メール、電話、又は郵便にて

支部会議ご参加・ご欠席、懇親会ご参加・ご欠席の旨をお知らせ下さい。

○ なお、ホテル宿泊については、各自でお願いいたします。

申し込み締め切り： 2009年3月20日

2. 会員情報

1) 九州支部会員数

2009年1月31日現在の九州支部の会員は、合計 52 名です。

福岡:10名; 佐賀:1名; 長崎:6名; 大分:14名; 熊本:5名; 宮崎:13名;

鹿児島:2名; 沖縄:1名

2) 新入会員、休会、退会のお知らせ

(1) この1月より下記の4名が新入会員となりました。詳しい情報は、サーバス九州会員リスト、及び4月配布の「SERVAS JAPAN HOST LIST」をご覧ください。

SM(熊本市); IN(熊本県上益城郡甲佐町);

HN(鹿児島県熊毛郡南種子町); KY & MA(宮崎市)

(2) この1月より下記の4名が休会・退会されました。長い間のご活動ありがとうございました。

○休会者: KI(鹿児島県串木野市); TM(長崎市)

○退会者: FA(大分市); MN(福岡県糟屋郡新宮町)

3. トラベラー受け入れ報告

○ 会員(福岡県水巻町)

1) 期間: 2008年4月22日~4月24日; PF & IF (スウェーデン、夫妻)



スウェーデンからの学校の先生のご夫婦。半年の休みを取って中国、オーストラリアを経てわが家に来られました。日本の家の作りや、狭い敷地に工夫を凝らして暮らしている私達の暮らしにとっても関心を持っていました。スウェーデンのかなり奥地に住んでいらっしゃるみたいで、今まで一度もサーバスのホストをしたことがないそうでぜひ遊びに来てくださいと言われました。

2) 期間: 2008年5月9日~5月10日; P & C(フランス)

Pさんはエンジニア(退職)、Cさんは秘書をされていた方。近くにある魚市場に連れて行きました。いろいろな魚や海産物を興味深げに見ていまして、じゃこを買ってプレゼントしてくれました。お連れした場所でトラベラーの方々が興味を示してくれるのはこちら側としてもとても嬉しいです。来年はCさんは妹さんを連れてまた九州に遊びに来るみたいで多分わが家にも泊まる予定です。

3) 期間: 2008年5月27日~5月29日; L(フランス)

カメラマン、フランス訛りの英語で聞き分けるのが難しく時間が経つに従って疲れてしまいました。笑顔が印象的な男性でした。

○ 会員(筑紫野市)



1) 期間: 2008年5月25日~5月27日; L (フランス37才、男性)
前日の夜の突然のオファーでしたが困っているようでしたので受け入れました。まるでフランス語にしか聞こえない英語で聞き取るのが大変でしたが料理好きな気持の優しい人でした。翌日は英語の好きな友人を誘って一緒に案内しました。お抹茶の道具も買ったそうです。いい浴衣を買いたいということで呉服屋さんで試着を楽しんでもらいました。

2) 期間: 2008年7月11日~7月13日; I & S 母子 (スペイン、49才12才)

Sさんに楽しんでもらえるように3歳の孫と一緒に滝に行き水辺で遊んだり、近所の方たちと一緒に花火をしたりしました。ふたりはすっかり兄弟気分で満足した様子でした。

3) 期間: 2008年8月9日~8月11日; A、E & I一家 (ポーランド、67歳、52歳、16歳)

4) 期間: 2008年11月9日~11月11日; B & M 夫妻 (スイス、64歳 63歳),

次女が京大で学んでいるそうです。若手の音楽家たちとオペラを企画、公演しているそうです、しかも昔の納屋や工場で。長女も歌っておられるようで公演の時期に是非いらっしやいと誘いを受けました。サーバスを通じてスイスには友人が何人かできましたので合わせて再会を楽しみにしています。二日目にはスイスの名物料理を作ってくれました。



○ 会員(福岡県荊田町)

期間 2008年10月11日~13日; S & MW (ドイツ、母親、息子さん)



ドイツ、マインツ出身の親子2人を受け入れました。9月半ばにメールにて連絡があり、先方の希望日程が一週間前だったのですが、わざわざ私たち家族の3連休にあわせて広島から九州に降りてきてくださいました。富士山、東京に向かうというルートの途中に、お会いすることが実現しました。スザンヌさん親子も私たち同様、今年サーバス会員となり、はじめて利用する旅でした。9月末から10月25日頃まで約一ヶ月かけての旅でした。日本に来た理由が17歳の高校生の息子さんが日本にとっても興味を持ったのをきっかけに、3年かけて準備され、実現されたそうです。息子さんの興味は、最初は幼少の時、ドラゴンボールなどのアニメから、ゲーム機器、今では日本のテクノロジーに関心が移っているようでした。着いた当日、ご自身の住んでいるマインツやドイツの都市の自作ビデオを見せてくださいました。

1日目は、午後、新幹線の最寄駅 JR 小倉駅で待ち合わせをし、周辺の小倉城と町並みを歩いたあと、我が家へお連れしました。夕食前に、彼女の希望で、娘の通っている合気道道場を見学し、夕食は数人友人も呼び一緒に過ごしました。お2人とも魚アレルギーであったため、うどんの魚のだしなどもだめだったため、おでんなどはあまり口にされませんでした。から揚げやバラ寿司は好きでした。偶然私と同じ年のSさんは神経科医をされていて、お互いの仕事に対する姿勢、息子さんの学校の事、趣味のハーブを楽しんでいる様子、異文化など、沢山話題を共有しました。また、彼女は5ヶ国語話せるそうで、3年間日本語の勉強をして今回日本に来ていますが、と

でも日本語が難しいことを実感されていました。娘の小学校の漢字ドリルをみて、どのように漢字の読み書きできるようになっているのか、言葉にもとても興味を示されていました。

2 日目は、湯布院と別府と一緒に行きました。湯布院では足湯に入りとても喜んでいらっしゃいました。そのあと古民家を改装した和食レストランに入り、地鶏を食べました。この日は天気もよく、由布岳を背景に、道端のコスモスが風に揺れてとても気持ちの秋晴れの良い一日でした。夕方別府に向かい、海地獄と高崎山に行きました。猿の大群を間近に見ることができ、特に念願だった息子さんは大喜びでした。

3 日目は、富士山周辺に向かうため、朝十時ごろ地元の駅でお別れをしました。

その後、東京と最後に沖縄でバカンスをすごしドイツに帰国されたそうです。Sさんと息子さんはお互いの仕事と学校の埋め合わせに毎日頑張っているそうです。帰国後、友人を招いて日本での日々をカレーライスとお茶でもてなしながら、写真とビデオで紹介し、ご友人もとても喜んでくれたそうです。特に息子さんは大学に進学するための最後のハードな一年となるそうですが、親子にとって日本での日々が肥やしになっていることと思います。初めての交流でしたが、とても充実した交流ができた3日間でした。



○ 会員(熊本市)

期間：2008年10月27日～10月29日；AB（アメリカ、女性、64才）

直前訪問地(長崎)からのメールでのフルホストでの受け入れ依頼を受け、これまでデイホストで対応してきましたが、初めてフルホストでの受け入れを試みました。現在大学の非常勤講師であるトラベラーとのアメリカ文化や政治などの話に花が咲き、茶道の体験で日本の伝統文化の一端に触れて貰うことが出来ました。マンションの狭いスペースでの受け入れもそれなりに可能なことを実感しました。

27日 阿蘇 噴火口が濃霧の為に見えず、火山博物館を案内

28日 水前寺公園、熊本城、細川刑部邸など

29日 茶道体験

○ 会員(宮崎市)

1) 期間：2008年5月21日、22日；CL（フランス、パリ、男性）

デイホストとして21日は綾の町を案内、22日は地区の公民館で茶道教室のレッスンを体験。茶道が気に入って抹茶と茶道具を購入。前田さんが浴衣をプレゼントしたので、後日私が帯を送ってあげたら着物姿の写真がメールで送られてきた。

2) 期間：2008年7月3日～7月4日；MR（USA）

ニューヨークからのジャーナリストの紳士でした。朝食前に団地を散歩しているとき、小学生が2列に並んで集団登校しているのを見て感動して写真を撮ったら、近所の人が見ていてちょっとしたハプニングがあった。

3) 期間：2008年8月1日～8月5日；SW（スリランカ、男性）

大分県の大学に留学中の子供さんに会うために来日。素敵な紳士で、スリランカへ行ったことのある知人のJ夫妻の案内で西都市の寒川溪谷に案内した。暑い日で、涼しい溪谷に若者や子供連れが来ていたが皆でパンツ一丁になり2時間ほど泳いだ。その後西都原古墳や博物館や地区のそうめん流し大会に飛び入り参加して楽しんだ。

○ 会員(宮崎市)

1) 期間：2008年7月7日～7月11日；IC & SC（スペイン、49歳、12歳）

スペインのバルセロナからICさん(女性49歳)とその息子SC(12歳)の親子がステイしました。Isabelはハイスクールでフランス語を教えています。また、カタロニア(バルセロナ地方)のサーバスコーディネータを務めています。

す。スペイン人気質の陽気で快活な人でした。SCは中学1年生です。話しかけられる英語は理解できるのですが、まだ自分の思うように話せないせいもあるのか、ちょっとシャイな少年でした。でも、こちらから話かけると、にこにこして積極的にコミュニケーションを図ってくれました。私たち家族はSCが時折見せるその素敵なお笑顔にすっかり魅せられてしまいました。

7日(月)の夕方、我が家に到着。夕食を交えながら団欒しました。8日(火)は鹿児島島の桜島までドライブしました。フェリーで渡り、島を一周しましたが桜島火山の雄姿、100年前の大爆発で流出した溶岩や火山灰に途中まで埋まった鳥居、当日はわずかでしたが立ち上る噴煙などが珍しかったようです。

夕食は我が家の近くの中華料理店に行き、娘とその職場の同僚であるサッカー狂の青年も加わって、にぎやかな食事会になりました。というのも、SCは大のサッカー好き、そしてお母さんのIsabelもサッカーに大変詳しいのです。お互いすっかり意気投合し、楽しい食事会でした。青年がサッカーゲームの最新版のプレイステーションを持ってくるので、一緒に楽しもうとの約束もSCとしていました。

9日(水)はオーシャンドーム、青島、鶴戸神宮を案内しました。オーシャンドームは採算がとれないため昨年すでに閉鎖されていましたが、ガイドブックには載っていたので、興味があったようです。鶴戸神宮では運玉投げの運試しで大いに盛り上がりました。ICさんによると、SCが言うには日本の神社をあちこち行ったけれども鶴戸神宮が一番よかったと言ったそうです。



夜は家族とともにタイ料理レストランに行き、ここでも話がはずみました。SCは体が細身なのですが、日本食などが大好きで食欲旺盛、見事な食べっぷりでした。

10日(木)は午前中、西都原古墳博物館に案内しました。古代衣装の試着コーナーがあり、親子で着てふざけていました。午後は、日本の海で海水浴をしたいという親子の要望で青島の海岸に行きました。

スペインの波と違ってすばらしい海だと喜んでいました。私の娘が砂を掘り、ふざけて首から下を「生き埋め」にすると喜んでいました。海水浴ができて大変満足したようでした。

夜は、我が家で市内のサーバス会員が集まってティーパーティを行い、全部で十数人の交流会となりました。SCは青年と大好きなサッカーゲームのプレイステーションに夢中で興じ、すっかり気に入っていました。その後、花火を玄関先で楽しみました。

11日(金)午前9時過ぎに宮崎駅で見送り、2人は博多駅に向かって行きました。スペインでの再会を約束し、車上の人となりました。少しシャイだったSCもステイ途中からすっかり私たち家族に溶け込み、愉快的時間を過ごすことができました。折しも相撲がTV放送されていたので、私が彼を相手に相撲をしましたが、思わぬその場の展開にお母さんが急いでカメラを向けました。我が家の人気者になり、私が彼に「スペインに帰らずに、このまま宮崎に居ようよ！」と言いますと、にっこり頷いてくれました。彼はとても優しくて利発な少年で、機械に詳しく、私がデジタルカメラやオーディオの取り扱いにまごついていると、表示や説明が日本語であるにもかかわらず、私の手から自分の手にとって手早く操作してくれました。

お母さんのICさんとも教育にまつわる話など、たくさんのお話と交流ができました。スペインからの受け入れは初めてでしたが、心に残る愉快で楽しい時間を共有することができました。

2) 期間：2008年9月4日～9月6日；JK（ドイツ、23歳）

訪問直前にステイ依頼の電話があり、急遽対応しました。フランスの大学でバイオテクノロジーを研究している学生で、京都大学で6週間のインターンシップを終えた後に日本各地を3週間かけて旅行しており、最後の目的地が宮崎でした。出身はボンの近くのライン川のほとりで、両親が暮らしているそうです。

4日(木)の夕方宮崎駅で出迎えました。夕食にカレーライスを出すので大好物だと言ってお代わりをし、喜んで食べてくれました。

5日(金)は午前中、県立総合博物館に行き宮崎の自然や民族道具、昭和初期の宮崎の様子などを見学しました。英語での説明を予め博物館ガイドをお願いしておきました。前もって準備をさせていただいていたようで、丁寧に説明していただきました。午後は、青島・鶴戸神社・サンメッセの海岸線を案内しました。青島の「鬼の洗濯岩」を見て、これは人工的に造られたものではないのかと仕切りに何度も聞き返してきましたが、それほど信じられない風景だったようです。鶴戸神社の運玉投げは、残念ながら射止めることができませんでした。

6日(土)は綾町の吊り橋と「酒泉の杜」に行きました。彼はどこに行っても急がず慌てず、ゆっくり写真を撮りながら見学していました。「酒泉の杜」では焼酎の試飲をしましたが、お父さんへのお土産にするのに私たちに意見を求めながらいろいろな焼酎をテイastingしたあと購入しました。午後1時過ぎの電車で京都に向かう彼を、ドイツでの再会をお互い願いながら宮崎駅で見送りました。

JKは食後の後始末を積極的に手伝うなど礼儀正しい好青年でした。突然で慌たしい受け入れでしたが、私たち家族にとって楽しい3日間でした。

4. サーバス旅行報告

○ドイツ・ヴェルツブルクのサーバスホスト K さんを訪ねる

北九州市 会員

毎年初夏にワインの買付でワイン産地を訪ね醸造元でのテイastingの旅を続けています。限られた日数の中で目的地から目的地に移動しながらのテイastingなのでこれまではサーバスのメンバーにコンタクトをとることもありませんでした。今年は週末の時間をプライベートに過ごせそうでしたので滞在地のひとつ、ヴェルツブルクでメンバーを捜しました。出発をひと月後に控えた頃でした。

ヴェルツブルクはフランクフルトからインターシティ(ドイツ国内の主要都市を結ぶ鉄道網)で1時間のところにある古くから栄えた美しい街です。20年まえに初めて訪れてからこれまでも短い滞在日程で10数回訪れています。ホストリストからダンスや演劇、ウォーキングに興味がありアイルランドとフランスで生活をしたことがある、との記述のあった同世代の女性にメールを送るとすぐに返信が送られてきました。それから数回のメールのやりとりを重ね訪問の約束をしました。仕事が目的の渡独に別の楽しみができ当日がとても楽しみでした。私は手紙も好きでよく書く方ですが短期間の間にコミュニケーションが可能なメールはとても便利でありたいとつくづく感じています。

5月23日の夕方19時半に列車がヴェルツブルクに到着。「私はブラウンの長い髪をしています。赤い服をきてお迎えにいきますね」とメールをくれたKはどこにいらっしゃるのでしょうか。駅のホームから出口に向かって大きなトランクをかかえて階段を下りている私を「あなたかしら？」とのぞき込んでくれたチャーミングな女性に思わず「K？」と返していました。車でご自宅に向かう途中はしゃべりどおでした。まるで旧友に会ったような懐かしさでお互いのことを伝え合うことができました。

ヴェルツブルクは世界遺産に登録されているレジデッツがあるロマンチック街道の出発点としても有名な街ですが彼女はそのレジデッツから歩いて数分のメイン通りから少し入った静かなアパートに住んでいました。お家に案内されると「まずはゼクト(ドイツのスパークリングワイン)で乾杯しましょう」と細長いフルーツグラスを用意してくれ泡立ちの美しいスパークリングでさらにリラックス。なにげなくお誕生日を尋ねるとたった1日ちがいの同じ年だということがわかり「私たちほとんど双子みたいなものね」と奇遇に驚いていました。

サーバスのメンバーになったきっかけを伺うと高校のフランス語と英語の教師である彼女は同僚の友人からサーバスのことを聞き、カナダへの一人旅を計画していた1995年にトラベラーとしてカナダ旅行を計画したそうです。その旅で出会った人たちとの交流がとても素晴らしく帰国してからホストとしての活動を始めたとのことでした。最初はメールアドレスがなく連絡の手段が電話だったことと当時住んでいたスペースが小さかったので受け入れゲストを1人にしていただけコンタクトも少なかったそうですが今は年にひとりくらいのペースでゲストがやってくるとのことでした。これまで受け入れたゲストはほとんど現役をリタイアなさった年配の方々で彼女がお世話になった滞在先も同じような方々だったそうです。「私のこれまでの受け入れ経験の95%は素晴らしかった、でもひとりだけサーバスの

ことをわかっていない人が来たの。でもサーバスの意義を説明してあげたらその時にはじめてわかったみたい」と話す彼女はとても率直で気持ちのよい人でした。私の場合もほとんどが楽しい思い出です。ホストとしてもゲストとしてもアレ？という経験がなかったわけではありませんが体験から学んで次に生かせばよいわけですから思い出としては楽しい形で残っています。私にとってサーバスの交流はいつも得ることの多い豊かな時間になっています。

Kはおしゃべりをしながら手際よく夕ご飯にポテトサラダを作ってくれました。「得意なのはインド料理だけれどポテトサラダはドイツらしいかなと思って」とグルケ(ミニきゅうりの酢づけ)と豆腐(チーズのように濃厚な味わいの少し堅めのお豆腐？でした)を刻んでマヨネーズであえただけのシンプルな1品でしたがドイツのじゃがいもはとても美味しくてたくさんいただけます。じゃがいもの品種もとても多く不思議なことに女の子の名前が冠されていることが多いことを知ったのもつい数年前です。「この品種は何？」と聞くと「アグリアよ、私が今一番好きなじゃがいも、ソーダもおいしいけど、ニコラやクローネは安いけどおいしくないから買わない」とまだ耳にしたことのない品種の情報を得ることができました。「でも私のポテトサラダを食べてじゃがいもの種類をきいてくれたのはあなたが初めて。」と喜んでいました。私はただ自分の知っている品種かな、と思って尋ねただけだったのですが・・・

彼女とおしゃべりは感覚に近い人と時間を共有する心地よさに満ちていました。若い頃ベビーシッターとしてアイルランドのダブリンで半年滞在した時の話やフランスのロワール地方に交換留学生として生活していた話はどうも楽しく興味深いものでした。ちょうどアイルランドへの旅に憧れていたのが彼女のお気に入りのパブやドイツ人作家の書いた「アイルランド日記」というエッセーのことを教えてもらえました。日本語に翻訳されているといいのですが・・・

到着して2時間足らずの間にたくさんのおしゃべりをシェアできすっかりリラックスしたころ「お散歩にいかない」と誘われ街にでました。時間は9時をまわっていましたが日が長くサマータイムも導入されているドイツではまるで水彩絵の具で少しずつ色を重ねていくようにとてもゆっくりと日が暮れていきます。このゆったりした時間帯のことを「ブラウエ・シュトнде」'青い時間'と呼んでドイツの人々は好んでお散歩をしたり、お庭でワインをいただきながらすごすようです。

世界遺産のレジデンツまで歩いて2,3分というロケーションの彼女の住まいは街の中心地へも2,3分です。「ガッセ」と呼ばれる小さな通りから広い通りにでるとトラッドな紳士服のお店がありました。ショーウィンドは素敵にライトアップされています。「このお店は月替わりで詩が出ていてそれを読むのがお散歩の楽しみのひとつなの」ドイツの素敵な伝統のひとつはこうしたところにも垣間見られます。A4の紙1枚に'5月に'と題された詩がウィンドーの片隅に飾られていました。きっと彼女のように毎月楽しみにしている人達がたくさんいるのでしょう。

1時間ほどのお散歩は小さな路地をゆったりとおしゃべりしながら彼女のお気に入りの場所をぶらぶらしたのですが何度も訪れているヴェルツブルクの街がまたちがった角度で体験できました。やはりそこに住む人の目線で街を案内してくれるせいでしょうか。アパートに戻ってから再びお互いの趣味などについておしゃべりを続けようやくベッドに入ったのは12時をまわったころでした。

翌朝まだ時差ぼけの残る私は早くに目が覚めたので一人で起き出しキッチンで持参した一杯用のドリップコーヒーを入れて前日に訪問したワインの蔵元さんの記録の整理などをすごしてしていました。しばらくして起き出してきた彼女が「私は休日の朝は日本茶なの」と大きなカフェオーレボールに並々と緑茶を注いで飲んでいました。日本はちょうど新茶の季節であることを話すと目を輝かせて「ファーストフラッシュ(一番摘み)ね」と興味津々です。「日本に帰ったら美味しい新茶を送るね」と約束し、後日私が日頃愛飲している八女・星野村のお煎茶を送ると「これまでに飲んだ緑茶の中で一番美味しい！」と喜んでくれました。

ドイツのスーパーマーケット

土曜日の午前中はお買い物の時間です。日曜日はレストランや観光客相手のおみやげ物屋さん以外はすべて閉まってしまうので多くの人は1週間分の食料を土曜日に調達するようです。環境問題に敏感な国ドイツは以前からオーガニックの野菜や食料品を扱う専門店がありましたがかかなり割高で私の記憶では8年くらい前に知人のドイツ人がオシャレにディスプレイされたオーガニック店の前で「オーガニックにこだわっているのは経済的に豊かで子供

がない特別な人たち」と話していたのが印象的でした。その後BSE問題や食の安全性がクローズアップされ状況は大きく変化し、ここ数年普通のスーパーマーケットに行っても「BIO」と表記してある商品が増えました。野菜だけでなくバイオマークのついたハムやチーズも同じようにとてもたくさん種類があります。日本も食品表示偽装問題で賑わっていますがドイツの表示基準は少なくとも原産地を限定するワイン法があることなどから推測してもかなり厳しいものだと思います。そして25年以上前からスーパーマーケットのビニール袋が有料だったドイツでは自分用の買い物袋を持参することが定着しリックサックで来店している人も多いようです。

マルクト(市場)

中規模の街では1週間のうちの決まった曜日の朝7時半くらいから午後2時くらいに生産者もしくは仲介業者が直接商品を販売する市場が開かれています。たいていは、教会の前の広場であることが多いのですがヴェルツブルクの市場は教会の前の一部のスペースに常設のマーケットスペースがあり、生鮮食料品やお花、ドライハーブの専門店などがあります。スーパーで調達できない特殊なハーブ類が小さな鉢で購入できるのもかなり魅力的です。インド料理が得意だというKがこの日使う予定のコリアンダーがなかなか見つからず何件もお店をまわったのですが最終的に市場の中のお店でやっとみつけることができました。初めて訪れる街の市場を訪ねるのはその土地を知るのに近道のように思います。

2泊させていただいたKとはその後もメールのやりとりが続いています。つくづくサーバスって素敵な輪だと思います(´_`)

○フランスとオランダへ二人で旅行

宮崎市 会員

宮崎の会員と2人でフランスにホームステイしました。10月6日から8日までパリのEさん宅へ。ご主人は留守でEさん1人でしたが楽しいもてなしを受けた。孫のLちゃんとも仲良く楽しかった。パリ市内はLさんが案内してくださった。5ヶ月ぶりに再会できた喜びはサーバスのおかげで感謝したい。

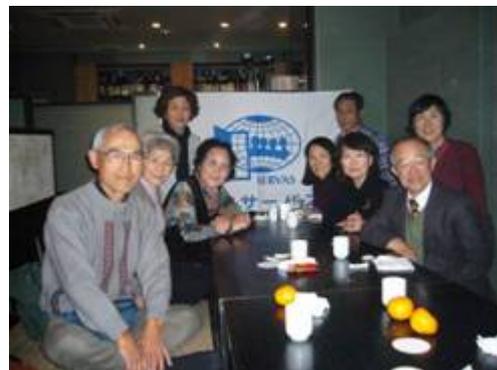
10月8日、9日はアムステルダムでLC宅にホームステイ。運河周辺を車で案内していただきシャトウの庭園はすでに紅葉していた。オランダの風景を満喫したステイでした。

パリにステイする前の数日はフランスの南部にホームステイしました。数年前に1人自転車旅行で宮崎や大分にホームステイしたパーシャさん宅に数日ステイしましたがサーバスではないので報告からは外しました。

5. 九州支部例会報告

支部例会を2008年12月20日に開催しました。2008年度の支部会議において「鹿児島地区で例会を！」との要望があり、「鶴の飛ぶ美しさを見る」そして「会員とともに親睦交流を深めようと、師走の忙しい中、忘年会も兼ねて集いました。概略と参加者からの報告を以下に掲載します。

- 1) 日時：2008年12月20日(土)18時～21時；参加者：9名
- 2) 場所：鹿児島県出水市、ホテルウィングインターナショナル出水
- 3) 例会前に15時ホテル出発、武家屋敷、湯川内温泉かじか荘
18時よりホテルのレストランで例会
- 4) 12月21日(日) 午前6時半ホテルを車で鶴の飛来地へ出発、8時頃ホテルへ戻り朝食、チェックアウトの後、日本最古の禅寺を観光の後解散。



参加者会員の報告

○ 会員(鳥栖市)



今回は鹿児島県出水市での忘年会でした。年末の多忙な時期の開催であったせいか、参加者の数は多くありませんでしたが、とても楽しい1泊2日の集まりでした。第1日目、私は少し早めに出水駅に到着し、観光案内所で自転車を借り、2時間ほど市内のあちこちを回ってから、午後3時に駅前のウイングホテルで皆さんと合流しました。2台の車に便乗し、まずは映画「篤姫」で有名になった武家屋敷を訪れました。いずれも広々とした屋敷で、門構えといい石垣といい、いかにも往時を偲ばせるに足る風格で、その地区一带には他と違った風が吹いているような感じでした。それから山奥の鄙びた温泉、湯川内かじか荘へ行きました。地の底から程よい温度の湯が湧き出していて、その湧水を足の下で感じながら入浴を楽しみました。それからホテルに帰り、夕食を食べながらHさんの名司会でサーバス談義に花を咲かせました。

2日目は朝6時30分にホテルを出て、有名な鶴の渡来地へ行きました。広々とした田んぼが横たわり、そこから鶴たちが一斉に飛び立つ光景は圧巻でした。鶴を見た後ホテルに帰り朝食をとり、今度は薩摩藩の初代から5代目までの藩主を祭る感応寺を訪ねました。寺では若いお坊さんから丁寧な説明を受け、大変勉強になりました。

今回の集まりでは支部長ご夫妻を始め、宮崎のHさん、地元出水のHさんに一方ならぬお世話になりました。心から感謝します。ありがとうございました。



○ 会員(宮崎市)

鶴の飛来地として有名な出水市に期待感を抱きながら、九州支部例会に参加しました。地図で見ると、宮崎市は九州東岸、出水市は九州山脈を挟んで正反対の西海岸に位置しています。九州横断するので、遠いなど思っていたのですが、3人の美女が同乗してくれることになり、ラジオ代わりの賑やかな道中でしたので、退屈することなく目的地に早目に到着することができました。

例会が始まるまでの時間を利用して、参加者全員でNHKドラマの舞台で有名になった伝統ある武家屋敷の見学や温泉入浴を楽しみました。夜の交流会では、各会員の近況や西山日本サーバス会長のサーバス現況報告を聞きながら、それぞれの思いを話し合いました。

翌早朝は、鶴飛来地の見学に行きましたが、初めて見た群れ飛ぶ鶴の大群に感動しました。朝食後に、島津藩にゆかりのある禅寺を見学しました。御住職より丁寧なるご説明をいただき、お寺の波乱に富んだ歴史を知ることができました。

地元会員のHさんには、いろいろと段取りや案内をしていただき、大変お世話になりました。お蔭で楽しく2日間を過ごすことができました。また、インターネットで出水市の観光スポットなど様々な見どころを事前に把握された支部長の情報収集力にも敬服いたしました。年末だったこともあったかも知れませんが、参加者が予想していたよりも少なかったことが、ちょっと残念でした。

6. 会員報告

○サーバス会員新年会-大分地区

豊後大野市 会員

国東半島の住吉浜にて、1月24日(土)上記の新年会が開かれました。一番寒い時期にもかかわらず12人の出席を頂き、楽しいひと時をすごすことが出来ました。国東半島の一角に位置する住吉浜という場所で、大分名物のふぐ料理に舌鼓を打ちながら、サーバス活動の話に花を咲かせた一夜でした。翌日曜日は杵築市内を散策し、杵築城前でお昼は国東名物の太刀魚料理を食し、午後解散いたしました。(写真:杵築城前)

会の最中、4月の九州支部会議には万障繰り合わせて出席しましょうと、私のほうからのお誘いしたところ、出来る限り参加しますという皆さんの心強いお声を頂きました。

○私のサーバス 2008 年



大分市 会員

年末より少し体調が悪いため、久しぶりに大分で新年を迎えました。

1 月

韓国より金会長外 6 名が 1 泊。体調が悪い私を気遣ってオムさんが残って寝具の始末等済ませてくれてとてもありがたかった。

2 月

韓国へ Sさんと同行 8日間 Gさん、Sさん 4人でサーバス小旅行
△ テジョン; Pさん宅に 1泊

家庭料理の先生の彼女が丁寧に作った珍しい料理を市内観光の後、美味しくいただきました。

△ ヨンチョンゲン; Yさん宅に 1泊

北朝鮮との境、38 度線を見学。夫婦共公務員の若い二人は可愛らしく一生懸命私達を楽しませてくれました。

△ ソウル; Eさん宅に 1泊

御夫婦は我が家にも来たことがあり、また、ヨーロッパやアジアと一緒に旅行したこともあって気軽でまるで兄弟の家にも行ったような気がしました。

3月 彦根へ

京都での国内会議に久しぶりに参加

5月 諏訪さん宅へ

韓国でお世話になった Yさん夫婦が見えたのでお手伝いに…… ご一緒して京都見物、しだれ桜の美しさを楽しみました。

7月 韓国へ

釜山の会員 Pさんは日本語がとても上手でお料理を教えていただいたり、楽しく過ごしました。

8月

△ 近畿支部の Hさん、Yさんが 2泊

△ スリランカより Mさんと両親の 3名が 3泊

△ 近畿支部の Sさん 6泊

△ 韓国より Gさん、Cさん 6泊

※ 4人で九州旅行をしました。



9月 香港、中国へ

東アジア会議に参加

10月 マレーシアへ

ロングステイをしている元九州支部会員の Iさんの住むクアラルンプールで 10日間お世話になりました。

11月 韓国へ

△ 近畿支部の Hさん、Yさんと同行

△ トンヨン市での韓国国内会議参加

家族での参加者は 120名

ベルギー、フィンランド、インド、ウズベキスタン等、外国からのお客さんも。そして日本から京都の平井さんが車椅子でお母様をつれての参加でしたが、京都でお世話になったとユンさん夫婦や皆さんがとても親切にお世話して下さい涙が出るほど嬉しかった。

※ もう遠くに行くことをやめた私ですが、今年も新しい友、懐かしい友と会え、思い出が又沢山出来ました。

○昨年を振り返って

宮崎市 会員

昨年は実現も出来るなどと思もしなかった自分の夢(演劇)にトライ出来るチャンスを得て、半年間忙しい日々でしたが、そんな中でデイホストの声をかけて頂き、国際交流も出来お陰様で楽しい一年でした。

フランスからのLさんの英語は訛りが強く理解するのに苦労もありましたが、彼もきっと私の日本語訛りの英語に戸惑っているだろうなと思いつつながら楽しい時間を過ごしました。帰国後も写真やメールを送ってくれ宮崎での滞在を喜んでくれていました。

スリランカの愉快なお父さんと宮崎のメンバーとの食事会では、自分の国は貧しいが沢山日本から援助をしてもらっている、とても感謝している、と手を合わせて言われたのがとても印象に残りました。時間が少々足りなかったのが残念でした。

スペインのIさん親子とは宮崎の会員Hさん宅で会うことが出来沢山話すことは出来なかったが、仕事を持ち休暇を子供と長期の外国旅行にいける生活環境は、羨ましく思いました。

出水市の忘年会では出水のHさんと皆始めてお会いし、大河ドラマの篤姫のロケがあった武家屋敷、ゆかりの禅寺、温泉、そして早朝の鶴の見学を案内して頂きました。寒さ覚悟で出かけたのですが暖かい朝で、美しい鶴の舞いやカラスや他の鳥と共存している面白い生態系を眺めることが出来、思い出が又増えました

今年は宮崎のメンバーに私より若い方が一人でも良いから入会されますように祈念します。

7. 2008年度九州支部の活動報告

サーバス九州支部の活動(2008/01/01-12/31)の報告を行ないます。

1)活動報告

- a) 12月31日現在の会員数: 52名
- b) 新入会員数 : 1名
- c) 退会・休会員数: 退会 2名; 休会 1名
- d) 認証トラベラー数:合計8件(スタンプ使用枚数:8枚)
会員7名; トラベラー会員1名
- e) サーバス旅行者数 合計13名(延べ人数20名)
- f) 外国からのトラベラー件数 合計37名(2007年度30名)
トラベラー受入延べ人数合計96名(2007年度62名)

2)会計報告

2009年1月18日に九州支部会計監査のMAさんに収入支出決算等の会計監査をして頂きました。

その概略は、2007年度繰越301,545円を含めた2008年度の収入額は、502,116円、2008年度の総支出額は、186,695円です。2009年度への繰越額は、315,421円となりました。

8. 会費納入のお願い

今年度の会費の振り込みをまだされていない方は、下記の口座へ振込をお願い致します。

郵便振替先

口座番号 記号： 01950-6； 番号： 36441

加入者名住所： サーバス九州事務局

郵便番号 889-2153

宮崎市学園木花台南 1-2-9

9.トラベラー受け入れ及びサーバス旅行レポート等をお願い

トラベラー受け入れ又はサーバス旅行をされた方からの体験談・報告を下記の事務局へお寄せ下さい。会員間の情報交換になりますので、手紙又は電子メールなど短くても、また、写真添付もよいですのでお願い致します。